

おおいちょう



開花が遅れた桜の花など、豊かな自然に見守られながら、新入学児童6名を迎える、全校児童49名（昨年度よりも5名減）での平成29年度が始まりました。職員15名（昨年度よりも1名減）で、子どもたちの教育にしっかりと当たらせていただきます。

年度初めにあたり、本年度の学校教育目標を紹介させていただきます。
保護者の皆様には、PTA総会時に説明をさせていただきました。



教育目標

知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成

子どもたちにも分かりやすいよう、合言葉があります。

（知育）「ひとみキラキラ」・・・進んで学び取り、よく考え工夫する子

（德育）「こころワクワク」・・・礼儀正しく、相手の立場に立って考える心優しい子

（体育）「からだグングン」・・・心身共に健康で、ねばり強く挑む子

将来、立派な社会人として独り立ちできるよう、バランスのとれた児童が育つように、子どもたち一人ひとりを大切にし、笑顔あふれる学校になるよう努力していきます。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

始業式から3週間

今週で4月も終わります。今月は、子ども達は新しい先生と共に、新学年の活動様式に着々と馴染んでいっているようです。新しい学年での生活のリズムが整いつつあります。

さて、この時期は1年間の学校生活のリズムを維持する上で、大変大切な時期です。

「早寝・早起き・朝ご飯」「家庭学習」などについて、各ご家庭に合わせた生活のリズムをしっかりとつくっておいて欲しいと思います。

歩いて登校することの教育的意義

一昨年度から、「歩いて登校」を知・徳・体との関連でお願いし続けています。これは、町内でも「1kmウォーク」という形で奨励しているところです。大切な朝の活動ですので、各地区の実態に応じた距離の歩行をお願いしたいと思います。保護者の皆様には徒歩による登下校の教育的意義について改めてご確認いただきたいと思い、下記の通りまとめました。



- 登下校の習慣化は、起床・歯磨き・身支度・朝食等の生活習慣まで及び、基本的な生活習慣の定着につながります。
- ランドセルを背負って歩くことは、足腰を鍛え、背中の筋力をつけ、身体を鍛えます。
- 色々な天候状況の中で登校することで思考力・判断力・危険回避能力・忍耐力が培われます。
- 登下校の道を歩き、自然に触れ合いながら四季の移り変わりを肌で感じ、地域の人たちと出会い、あいさつを交わすことで社会性やコミュニケーション能力が育ちます。

つまり、「生きる力」をはぐくむ日頃の地道な行動だといえます。

これからも、ご理解とご協力を願っています。

